

## 山と森とごろごろ水と僕

みなさんはごろごろ水を知っていますか。ごろごろ水は僕の住む、奈良県吉野郡天川村という所にある名水百選に選ばれているきれいな水です。ごろごろ水はほら穴からごろごろと音がなっているからごろごろ水といわれていると小さいころから聞きました。どうしてごろごろと音になるのか僕は不思議に思ったので調べてみることにしました。

調べた結果、地中の水路を流れる水が鍾乳洞にこだましてごろごろと音が聞こえることから、ごろごろ水と呼ばれるようになったそうです。僕は地域に住んでいるものとしてこのことを頭に入れておこうと思いました。

また、水の成分を調べてみると、ごろごろ水は超天然水で体に必要なミネラル成分などが豊富にふくんでいるそうです。そのミネラル成分にはカルシウム、マグネシウム、カリ

天川村立洞川中学校 一年

小屋 成輝

ウム、ナトリウムが入っていてP・H八・二のアルカリ自然水だそうです。このことは、吉野熊野国立公園にも位置するこの洞川の地形のおかげのようです。洞川は広大なカルスト台地で、石灰岩を自然のフィルターとして、長年ろ過された水が、カルシウムを程よくふくんだ、とつてもおいしい水になるようです。

カルスト台地のこの地域には、鍾乳洞が二つあります。一つ目は面不動鍾乳洞です。二つ目は五代松鍾乳洞です。ごろごろ水は二つ目の五代松鍾乳洞の方から湧き出ている水といふことがわかりました。

でもおいしい水になる原因はこれだけではありません。この前テレビで、杉の木のおかげできれいな湧き水になると放映されていました。どうして杉の木のおかげで湧き水がきれいになるかというと、木は「水の柱」とい

うからだそうです。

「水の柱」とは、木の根っこにたまった水が時間をかけて地下水になります。それが一番きれいな水だそうです。ということは、森林をよくすれば空気も水もおいしくなります。おいしい水とおいしい空気は豊かな森から生まれたのです。

杉の木に耳をあけると水の音がするそうです。僕はそのことを知りそつと胸に手をあててみました。すると、心臓の音がしました。

その音をきいて僕は感じました。心臓の音がドクン、ドクンするのは血液の流れる音だけれど、水の流れる音にも感じました。杉の木の中にも水が流れているように、人の体の中には水分が六十〜七十パーセントあります。そう考えると、水が流れているように、聞こえるような気がしました。

僕はスポーツをしています。だから水分補給は大切なので、いい水を体に入りたいです。水は僕たちの生活に必要です。だから水のことをもっと知り、おいしく飲みたいと思いました。水は僕たちを支える大切な体の一部なのです。このことを知り改めてごろごろ水

のすばらしさ、ありがたさを感じました。僕はこの洞川に生まれ、自然の恵みのごろごろ水をあたりまえに飲んでいましたが、これからは飲めることに感謝して飲みたいと思います。そして、このごろごろ水を守るために、豊かな森を守ることについてしっかりと考えていきたいです。